

平成27年度 ケアハウス 事業計画

I 現状と取り巻く状況

ご利用者の心身機能の低下や認知症状の出現が見られるようになり、又、それにより個々の日常生活動作の差も顕著となってきている。その為、体調不良の早期発見及び、心身機能の活性化を図っていくことにより、一人一人の機能維持・向上を目指して行かなければならない。施設としても職員の能力向上を図り、ご利用者の自立した生活に繋げる為の的確な支援が重要となっている。

厚生労働省は地域包括ケアシステムを推進している中で、今まで以上に施設と地域とのつながりを強化することが求められている。

II 基本方針

1. ご利用者、ご家族に信頼される施設サービスを目指す
2. 職員の資質向上
3. 安定的事業運営を図る

III サービス目標

1. 利用者のサービスの質の向上
 - ・認知症予防につながるレクリエーションの充実
(頭と身体を使ったレクリエーションの実施)
 - ・利用者ミニ講座の実施
(防災、栄養、リハビリ、認知症予防等)
 - ・利用者同士のコミュニケーション向上
(リズムクラブ等、多種のクラブへの参加・評価)

IV 能力開発目標

1. 職員の資質向上
 - ・レクリエーション研修、老施協研究発表会に参加し、伝達研修で業務に生かす
 - ・認知症予防の研修
 - ・接遇力向上を目指す

V 地域目標

1. 地域の学校や住民関係機関等との連携や交流を図る
 - ・地域行事に参加し地域の方と交流を図る
 - ・近隣の保育園、小中学校との交流を図る

VI 業務目標

1. 待機者を確保し、満床を維持する
 - ・申込者や関係機関へ定期的に連絡を取り、スムーズな入居へとつなげていく